山田太造　前近代日本史情報国際センター　助教

【研究活動】

研究テーマ　史料からの情報抽出，史料に対するテキストマイニング／歴史情報検索

〔論文〕渋谷 綾子・山田 太造・渡邉 要一郎・平澤 加奈子・大向 一輝・金子 拓・山家 浩樹・保谷 徹「日本史史料の長期利用とデータ共有・連結化に向けたシステム環境整備」じんもんこん2020論文集、No.2020、pp.23-30、2020年（査読有）／山田 太造「デジタル化される日本史史料の現状 (創刊1000号記念 特集 進むデジタル化と問われる歴史学)」歴史学研究 = Journal of historical studies、No.1000、pp.2-10、2020年（招待有）／Taizo Yamada・Satoshi Inoue「A Flow for Digitizing Japanese Historical Materials and their Long-Term Use.」Proceedings of Digital Humanities Conference 2020 (DH2020)、2020年（査読有）

〔書籍等出版物〕

〔講演・口頭発表等〕大向 一輝・渡邉要一郎・渋谷 綾子・平澤 加奈子・山田 太造・山家 浩樹・保谷徹「東京大学史料編纂所におけるデータインフラ整備の現状」2020年度統計関連学会連合大会、2020年

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」（研究代表者 山家 浩樹）／基盤研究(A)「多面的な時空間範囲の同定と記述法の開発－緯度・経度／年月日からの脱却」（研究代表者 関野 樹）／基盤研究(S)「木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開」（研究代表者 馬場 基）／基盤研究(A)「統合史資料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」（研究代表者 山田 太造）／基盤研究(A)「古代・中世東西回廊－東南アジア大陸部交流網の歴史的動態」（研究代表者 柴山 守）／「拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務」（研究代表者 山田太造）／基盤研究(A)「「研究に真に使える」歴史資料情報基盤の構築―データ持続性研究と人文情報学の実践―」（研究代表者 後藤 真）／基盤研究(A)「「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築」（研究代表者 原 正一郎）／基盤研究(B)「日本文学情報データベースの情報連携とオープンデータ化の研究」（研究代表者 古瀬 蔵）／基盤研究(A)「原史料メタ情報の生成・管理体系の確立および歴史知識情報との融合による研究高度化」（研究代表者 山家 浩樹）／基盤研究(A)「セマンティック・クロノロジー：時間軸に沿った知識の可視化と利用に向けた基盤構築」（研究代表者 関野 樹）／基盤研究(S)「マルチアーカイヴァル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」（研究代表者 保谷 徹）／基盤研究(A)「歴史知識情報のオープンデータ化にむけたスキームと情報利活用手法の再構築」（研究代表者 久留島 典子）／基盤研究(B)「オントロジー指向による考古遺跡情報の知識体系化－東南アジア大陸部を事例に－」（研究代表者 柴山 守）／基盤研究(A)「歴史的文字に関する経験知の共有資源化と多元的分析のための人文・情報学融合研究」（研究代表者 馬場 基）／若手研究(B)「テキストマイニング分析による史学的知識抽出に関する研究」（研究代表者 山田 太造）／基盤研究(A)「未刊古文書釈文作成のための協調作業環境の構築」（研究代表者 近藤 成一）／基盤研究(A)「画像解析と歴史・地理情報の高度活用に基づく荘園絵図の総合的研究」（研究代表者 榎原 雅治）／基盤研究(A)「正倉院文書の多元的解析支援と広領域研究資源化」（研究代表者 山口 英男）／基盤研究(B)「多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究」（研究代表者 古瀬 蔵）

【所・学内業務】

〔史料採訪〕松尾大社での調査・撮影

【所・学内行政】

〔学内〕情報基盤センター／学術資産アーカイブ化推進室

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会／電子計算機緊急対応チーム／情報支援室

【学外活動】

〔委員会〕情報処理学会 論文誌ジャーナル/JIP編集委員会知能グループ副査／情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会 幹事／情報処理学会 論文誌ジャーナル/JIP編集委員会委員／情報処理学会 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん」実行委員／情報処理学会 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん」プログラム委員／情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会 運営委員／Japanese Association for Digital Humanities Executive Board／Japanese Association for Digital Humanities (JADH) Programme Committee of annual conference／ 人間文化研究機構研究資源共有化事業委員

〔経歴〕国立歴史民俗学博物館／東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国会図書館